

ガーナでそろばんプロジェクト 126 号(2025 年 9 月 30 日)

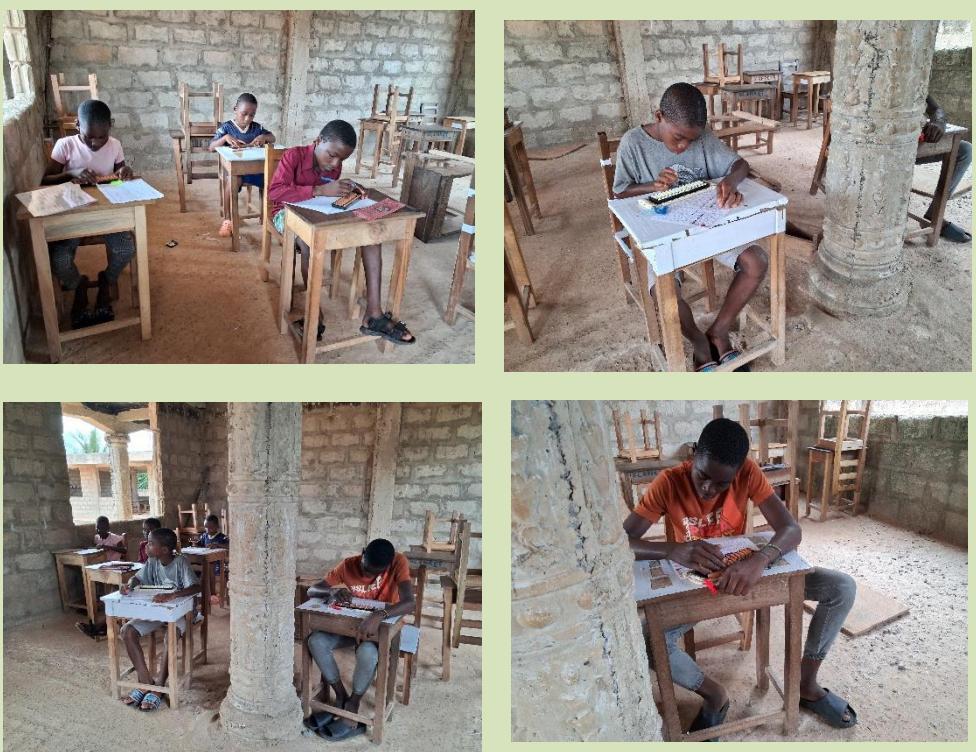
★★ そろばんはセンスでなく努力と練習量 ★★

9月に入り、新年度の新学期が始まりました。小雨期も終わりに近づき首都アクラではほぼ毎日どこかで短時間ではあるけれど雨雲から絞り出したような雨が降っています。アクラから160キロ離れたアフィエ村もほぼ毎日のように雨が降っていたと聞きました。小雨期が終わると再び暑い季節がやって来ます。

今月は土曜日のそろばん教室を一回開催することが出来ました。前号でお伝えしたように、土曜日は、ストレーーに国境に行く乗り合いバスはなかなか定員にならないため、小まめに乗降客で停車する乗り合いバスを使う事にしました。その甲斐あって、その1回のそろばん教室も学校に早く着くことが出来たのです。ついた時刻は9時20分、この時間なら2時間の練習が出来るけれど、「こんな早い時間に来ている生徒はいないだろう」と思い、生徒が来まるまで、その間に使った裁縫セッテである針山の縫い針とまち針の整理を教室でしながら待とうと思ついたら、生徒が一人教室で待つていたのです。待つていてくれた「これは嬉しいのですが、針山をゆつくりと整理できないな」というもどかしさが生まれました。待つていてくれた生徒一人、そして後から来た生徒三人を合わせて計五人の登室となりました。ほぼ二ヶ月ぶりのそろばん教室、二ヶ月前に乗算のやり方を指導したサビナに今回、除算のやり方を指導しました。二か月前に乗算を指導した時に九九を暗記するように言つていたはずなのに、彼女は暗記していませんでした。暗記をしていなかつた事への苛立ち、また他の子どもは、五珠の動きの理解がなかなか出来ず、何回も間違えるから、答えを記入する欄は、もう書ききれなくなり問題部分にも答えを記入するので、指導すると問題の数字が分からず、それに苛立つてしましました。「うした苛立ちはどうして生まれるのだろうと考えたら、そこにはいい加減に覚えてよ」の気持ちがあるのです。出来る出来ないの基準が、かつてそろばん教室に通つて、大学進学やフランス留学に行つた子どもの努力が基準となつてしまつてゐるので、そろばんで計

算できるようになるまでそれぞれなのに。そろばんでの計算が出来る出来ないはセンスのかな?…そう思つてもしまいました。センスでなく練習あるのみ、それを実現させていきたいと思います。

報告 TOSHIKO



子どもの学びのサポートに心より感謝いたします。

協賛

トモエそろばん様